

会 員 各 位

一般社団法人 全国住宅産業協会
事務局長 米 山 篤 史

「平成 3 0 年低層住宅労働災害発生状況調査」のご依頼について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、当協会ほか住宅関係団体で構成する(一社)住宅生産団体連合会では、低層住宅の建設現場における労働災害の一層の低減を図るため、標記調査を毎年実施しております。当協会としても労働災害の低減に向け、各地域の現状を把握し、改善について提案していくため積極的に協力したいと考えます。

つきましては、ご多忙の折り恐縮に存じますが、別紙をご参照の上、アンケート調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。 敬 具

記

1. 提出期限 平成 3 1 年 2 月 2 5 日 (月) までに
F A X (0 3 - 3 5 1 1 - 0 6 1 6) にてご回答ください。
2. 提 出 先 (一社)全国住宅産業協会 担当 岩脇
TEL 03-3511-0611 FAX 03-3511-0616
3. 報告内容 請負住宅及び自社で建設し建売住宅とした建物のうち、3階建以下の戸建住宅及び集合住宅において、発生した災害(通勤時災害は除く)での労働者、中小事業主及び一人親方の災害休業日数1日以上のものについて、別紙報告書用紙(報告書No1、No2、労災分類番号一覧表)にてご報告ください。 以 上

労働災害発生件数が、0件でも報告書に会社名、新築・増改築の年間完工棟数等をご記入の上ご回答ください。労働災害が発生した企業におかれましては、今後の労働災害撲滅のために、必ず報告書をご提出くださいますようお願い申し上げます。

会 社 名

ご担当者名

T E L

貴社の請負住宅および建売住宅のうち、3階建以下の戸建住宅・集合住宅工事において発生した災害（通勤災害を除く）で休業1日以上のものについて、ご報告ください。

貴社が、以下A～Fの団体に複数加入されている場合、夫々の団体から当調査用紙が配布されますが、報告書は工法別に集計して各団体へ返送して下さい。

ご注意：①同じ報告書を複数団体へ提出しないようにお願いいたします。（工法別の集計報告書を、各々の団体に提出することはかまいません。）

②労働災害発生件数が0件でも完工棟数等をご記入のうえ、報告書をご提出下さい。

（貴社が加入されている団体の労災発生率を調査するために、ご協力をお願いいたします。）

以下1～4の各質問にご回答ください。

1. 貴社加入団体（複数加入なら該当団体全てに○印を）

- A. プレハブ建築協会 B. 日本木造住宅産業協会 C. 日本ツーバイフォー建築協会
D. 全国住宅産業協会 E. 全国中小建築工事業団体連合会 F. 輸入住宅産業協会

2. 当報告書の提出先団体（該当団体1つに○印を：同じ報告書を複数団体へ提出しないで下さい。）

- A. プレハブ建築協会 B. 日本木造住宅産業協会 C. 日本ツーバイフォー建築協会
D. 全国住宅産業協会 E. 全国中小建築工事業団体連合会 F. 輸入住宅産業協会

3. まとめ（工法区分ごとに集計していれば工法ごとに記入して下さい。該当工法を○で囲んで下さい。）

工法記号(イ・ロ・ハ・ニ・ホ・ヘ・ト・チ)

- イ. 木造在来軸組 ロ. ツーバイフォー ハ. 木質プレハブ ニ. 鉄骨在来
ホ. 鉄骨プレハブ ヘ. コンクリート在来 ト. コンクリートプレハブ チ. その他(混構造等)

貴社の平成30年(1～12月)の工事棟数(工法別)

工 法	ホイ ・ ・ ヘロ ・ ・ トハ ・ ・ チニ	新築工事 年間 完工棟数	棟
		増改築・リフォーム 年間 完了件数	件
		解体工事 年間 完了件数	件

貴社の平成30年(1～12月)の工事棟数(工法別)

工 法	ホイ ・ ・ ヘロ ・ ・ トハ ・ ・ チニ	新築工事 年間 完工棟数	棟
		増改築・リフォーム 年間 完了件数	件
		解体工事 年間 完了件数	件

貴社の平成30年(1～12月)の
労働災害発生件数(上表工法分)

労働災害 年間 総発生件数 (休業日数 1日以上)	件
---------------------------------	---

貴社の平成30年(1～12月)の
労働災害発生件数(上表工法分)

労働災害 年間 総発生件数 (休業日数 1日以上)	件
---------------------------------	---

- ・労働災害年間発生件数無しの時は0件とご記入ください。
- ・集合住宅は戸数ではなく棟数にてご記入ください。

4. 労働災害年間総発生件数内訳（休業1日以上）

*別紙の労働災害年間総発生件数内訳(休業1日以上)報告書に記入して下さい。用紙が足りない場合はコピーしてご使用下さい。

*工法ごとに集計している場合は、1工法1用紙にご記入下さい。

*別添の「労働災害分類番号一覧表」ならびに 報告用紙No.2に記載した記入例を参照してご記入ください。

以 上

平成30年 1月～12月低層住宅労働災害発生報告書（戸建住宅・低層集合住宅）
労働災害年間総発生件数内訳（休業1日以上）報告書

No 2

会社名

当用紙を工法区分ごとに集計している時は以下の工法区分の一つに○を付けて下さい。

- イ. 木造在来軸組 ロ. ツーバイフォー ハ. 木質プレハブ ニ. 鉄骨在来
ホ. 鉄骨プレハブ ヘ. コンクリート在来 ト. コンクリートプレハブ チ. その他（混構造等）

※記入欄が足りない場合は、同じ書式で別紙にご記入下さい。

No	災害発生日時			被災者 区分	年 令	性 別	作業 分類	職種 分類	災害 分類	工法 区分	工事 種別	休業日数別					
	月・日	曜日	時刻									1～3	4～7	8～30	31～90	91～	死亡
1																	
	災害分類：80. その他 記入欄			作業分類：13. その他 記入欄			職種分類：26. その他 記入欄			墜転落：19. その他 記入欄			切れ・こすれ：29. その他 記入欄				
車両系建設機械：36. その他 記入欄			発生状況：														
2																	
	災害分類：80. その他 記入欄			作業分類：13. その他 記入欄			職種分類：26. その他 記入欄			墜転落：19. その他 記入欄			切れ・こすれ：29. その他 記入欄				
車両系建設機械：36. その他 記入欄			発生状況：														
3																	
	災害分類：80. その他 記入欄			作業分類：13. その他 記入欄			職種分類：26. その他 記入欄			墜転落：19. その他 記入欄			切れ・こすれ：29. その他 記入欄				
車両系建設機械：36. その他 記入欄			発生状況：														
4																	
	災害分類：80. その他 記入欄			作業分類：13. その他 記入欄			職種分類：26. その他 記入欄			墜転落：19. その他 記入欄			切れ・こすれ：29. その他 記入欄				
車両系建設機械：36. その他 記入欄			発生状況：														
5																	
	災害分類：80. その他 記入欄			作業分類：13. その他 記入欄			職種分類：26. その他 記入欄			墜転落：19. その他 記入欄			切れ・こすれ：29. その他 記入欄				
車両系建設機械：36. その他 記入欄			発生状況：														

※記入例

No	災害発生日時			被災者 区分	年 令	性 別	作業 分類	職種 分類	災害 分類	工法 区分	工事 種別	休業日数別					
	月・日	曜日	時刻									1～3	4～7	8～30	31～90	91～	死亡
記入例 ①	6・19	木	16:00	1	45	1	6	4	13	イ	2		○				
	災害分類：80. その他 記入欄			作業分類：13. その他 記入欄			職種分類：26. その他 記入欄			墜転落：19. その他 記入欄			切れ・こすれ：29. その他 記入欄				
車両系建設機械：36. その他 記入欄			発生状況：外壁張替え作業中に足をすべらせて2階作業床から転落。														
記入例 ②	7・25	金	10:30	1	32	1	1	1	80	ハ	3		○				
	災害分類：80. その他 記入欄 プライヤーで指を潰す。			作業分類：13. その他 記入欄			職種分類：26. その他 記入欄			墜転落：19. その他 記入欄			切れ・こすれ：29. その他 記入欄				
車両系建設機械：36. その他 記入欄			発生状況：鉄板をプライヤーではさんで引きはがそうとし、はさむ時に指を潰してしまった。														

平成30年分調査 労働災害分類番号一覧表

被災者区分	1. 労働者	2. 中小事業主	3. 一人親方
-------	--------	----------	---------

性別	1. 男	2. 女
----	------	------

作業分類	1. 解体	2. 基礎	3. 足場	4. 建方	5. 屋根	6. 外部造作	7. 内部造作
	8. 外装	9. 内装	10. 設備	11. 外構	12. 加工場	13. その他(作業を記入)	

職種分類	1. 解体	2. トビ足場	3. 基礎	4. 大工	5. 防蟻	6. 板金	7. スレート
	8. 瓦	9. 防水	10. コーキング	11. 左官	12. サイディング		13. タイル
	14. 塗装	15. クロス	16. 建具	17. タタミ	18. 電気	19. 給排水	20. ガス
	21. 空調	22. 造園	23. 現場監督	24. 納材	25. 産廃	26. その他(職種を記入)	

災害分類 (型・起因)	墜転落	11. 屋根	12. 梁	13. 足場	14. 開口部	15. ハシゴ	16. 脚立	
		17. 脚立足場	18. 車荷台	19. その他(記入してください)				
	切れ・こすれ	21. 丸ノコ	22. 釘打機	23. 金槌	24. ノミ	25. 木材加工機	26. バール	
		27. カッター	28. グラインダー		29. その他(記入してください)			
	車両系建設機械 (型・起因)	30. クレーン	31. ドラグショベル(ユンボ)		32. ハンドガイドローラー	33. ランマー		
		34. ユニック車	35. トラック	36. その他(機械名を記入してください)				
	40. 激突							
	50. 激突され							
60. 飛来落下								
70. 転倒								
80. その他(型・起因を記入してください。表現は用語等を気にせずに記入してください。)								

工法区分	イ. 木造在来軸組	ロ. ツーバイフォー	ハ. 木質プレハブ	ニ. 鉄骨在来
	ホ. 鉄骨プレハブ	ヘ. コンクリート在来	ト. コンクリートプレハブ	チ. その他(混構造等)

* 型式適合認定工法以外は、イ. 木造在来軸組 ロ. ツーバイフォー ニ. 鉄骨在来 ヘ. コンクリート在来 チ. その他(混構造等) の中
選択してください。

工事種別	1. 新築	2. 増改築・リフォーム	3. 解体
------	-------	--------------	-------